

令和6年7月25日
相模原市発表資料

令和6年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要について

令和6年上半期(1月～6月)における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

1 火災の概要について

市内で92件(前年同期比12件増)の火災が発生し、死者は2人(前年同期比2人減)で、負傷者は22人(前年同期比6人増)です。

火災原因等の詳細は、別紙1のとおりです。

2 救急の概要について

救急出場件数は20,821件(前年同期比307件増)、搬送人員は、17,518人(前年同期比724人増)で、共に過去最多となっています。

事故種別ごとの件数等の詳細は、別紙2のとおりです。

問い合わせ先

消防局 消防部 予防課(火災関係)

042-751-9117

警防部 救急課(救急関係)

042-751-9142

令和 6 年上半期(1 月～ 6 月)における火災の概要(速報値)

令和 6 年上半期(1 月～ 6 月)に市内で 9 2 件の火災が発生しました。
火災による死者は 2 人で、負傷者は 2 2 人です。

1 火災の発生状況

(1) 火災件数は、前年同期と比べ 1 2 件の増加

火災件数は 9 2 件で、前年同期と比べると 1 2 件増加しています。

火災種別ごとに見ると、前年同期と比べ、建物火災は 5 2 件で 5 件増、林野火災は 1 件で 1 件減、車両火災は 9 件で 4 件増、その他の火災は 3 0 件で 4 件増となっています。

(2) 出火原因の第 1 位は「こんろ」、続いて「たばこ」及び「電気機器」、「マッチ・ライター」

全火災 9 2 件を出火原因別に見ると、「こんろ」が 1 0 件(1 0. 9%)で 1 位、続いて「たばこ」及び「電気機器」がそれぞれ 7 件(7. 6%)、「マッチ・ライター」が 5 件(5. 4%)、「配線器具」及び「火あそび」がそれぞれ 4 件(4. 3%)の順となっています。

(3) 火災による死者は前年同期と比べ 2 人減少、負傷者は大幅に増加

火災による死者は 2 人で、前年同期と比べると 2 人減少しています。

火災種別で見ると、建物火災で 1 人、車両火災で 1 人亡くなりました。

火災による負傷者は 2 2 人で、前年同期と比べると 6 人増加しています。

(4) 前年同期と比べ建物焼損棟数、損害額、焼損面積は大幅に増加

焼損棟数は 7 6 棟で、前年同期と比べると 2 5 棟増加しています。

建物の焼損面積は 1, 9 4 2 m²で前年同期と比べると 1, 2 7 9 m²増加しています。

損害額は 1 億 2, 2 5 1 万 8 千円で前年同期に比べると 3, 5 7 5 万 5 千円増加しています。

2 火災概況

項目		令和6年上半期	令和5年上半期	増減	
合計（件数）		92	80	12	
火災種別	建物	件数	52	47	5
		面積(m ²)	1,942	663	1,279
	林野	件数	1	2	△1
		面積(a)	2	42	△40
	車両		9	5	4
	船舶		0	0	0
	航空機		0	0	0
	その他	件数	30	26	4
面積(m ²)		10,238	5,213	5,025	
原因別	失火(構成比)		69 (75.0%)	67 (83.8%)	2
	放火(疑い含む)(構成比)		3 (3.3%)	7 (8.8%)	△4
	不明(構成比)		20 (21.7%)	6 (7.5%)	14
焼損棟数		76	51	25	
り災世帯		58	38	20	
り災人員		120	78	42	
死者		2	4	△2	
負傷者		22	16	6	
損害額（千円）		122,518	86,763	35,755	

* 構成比については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

3 出火原因

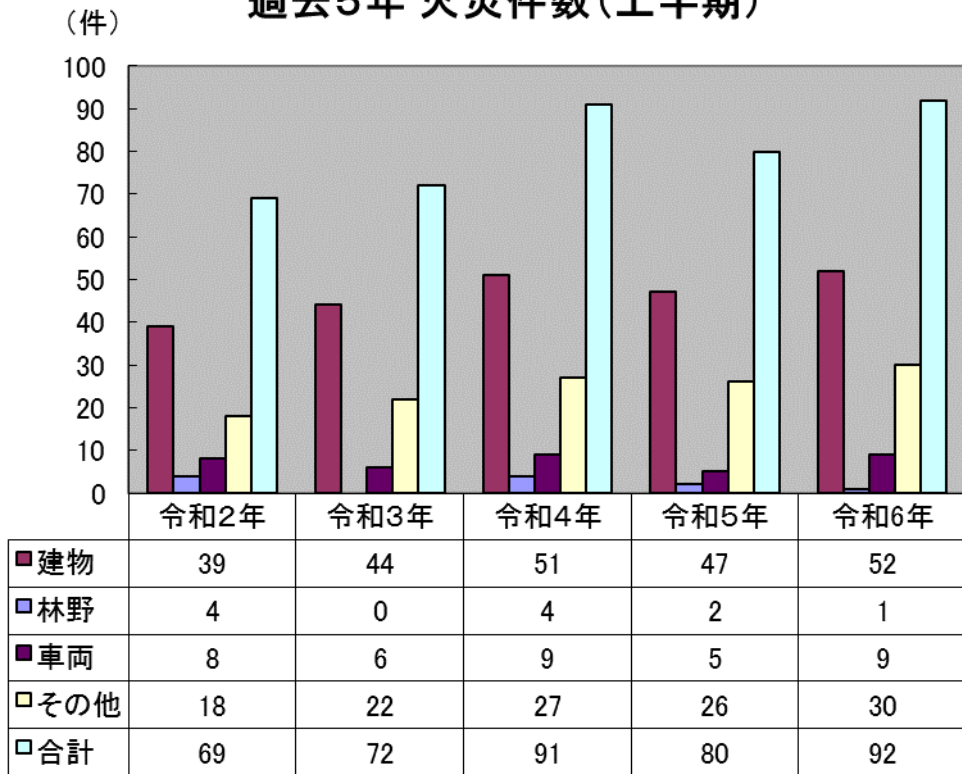
令和6年上半期 92 件			令和5年上半期 80 件		
順位	出火原因	件数	順位	出火原因	件数
1	こんろ	10 (10.9%)	1	たばこ	17 (21.3%)
2	たばこ	7 (7.6%)	2	こんろ	8 (10.0%)
2	電気機器	7 (7.6%)	3	配線器具	7 (8.8%)
3	マッチ・ライター	5 (5.4%)	3	放火(疑い含む)	7 (8.8%)
4	配線器具	4 (4.3%)	4	電気機器	6 (7.5%)
4	火あそび	4 (4.3%)	5	火あそび	5 (6.3%)
その他		55 (59.8%)	その他		30 (37.5%)

* 括弧内は合計件数における構成比

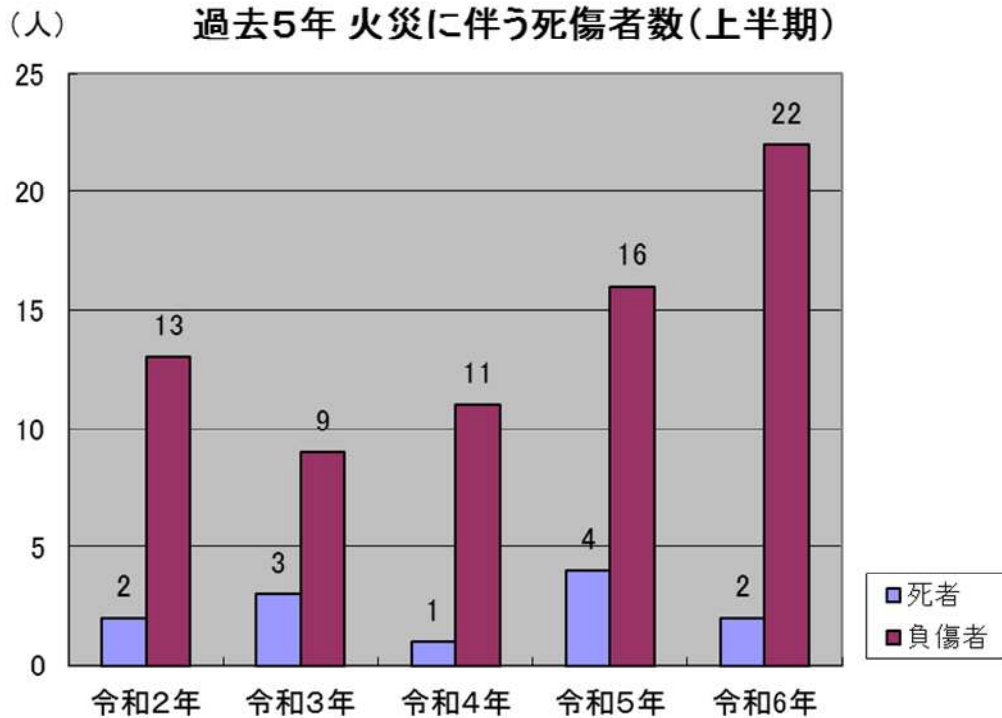
* 構成比については、小数点以下第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

過去5年 火災件数(上半期)



過去5年 火災に伴う死傷者数(上半期)



令和6年上半期(1月～6月)における救急の概要(速報値)

救急出場件数は20,821件、搬送人員は17,518人で、共に増加となりました。上半期として過去最多を更新しました。

1 救急業務の実施状況

(1) 救急出場件数は前年同期と比べ307件増加し、過去最多を更新

令和6年上半期の救急出場件数は20,821件、搬送人員は17,518人で、前年同期と比べ救急出場件数は307件、搬送人員は724人増加しています。上半期の救急出場件数及び搬送人員は、共に過去最多を更新しました。

(2) 救急出場の事故種別の第1位は「急病」、続いて「一般負傷」、「転院搬送」

救急出場の事故種別順位としては、「急病」(14,168件 68.0%)が最も多く、「一般負傷」(3,048件 14.6%)、「転院搬送」(1,426件 6.8%)、「交通事故」(1,102件 5.3%)と続いています。

(3) 65歳以上の高齢者の搬送割合は、前年同期と比べ0.9ポイント増

65歳以上の高齢者の搬送人員は、10,395人(前年同期比586人増)で、全体の搬送人員の59.3%(前年同期比0.9ポイント増)となっています。

(4) 軽症者の搬送人員の割合は、前年同期と比べ0.5ポイント減

軽症者の搬送人員は、8,798人(前年比276人増)で、全体の搬送人員の50.2%(前年同期比0.5ポイント減)となっています。

2 救急概要

事故種別 区分		令和6年上半期		令和5年上半期		増減(C) (A-B)	増減率(%) (C/B×100)	
		(A)		(B)				
救急出場件数		20,821		20,514		307	1.5%	
傷病者搬送件数		17,454		16,719		735	4.4%	
不搬送件数		3,367		3,795		△428	△11.3%	
事故種別 内訳	火災	63	(0.3%)	54	(0.3%)	9	16.7%	
	自然災害	5	(0.0%)	0	(0.0%)	5	—%	
	水難	3	(0.0%)	4	(0.0%)	△1	△25.0%	
	交通	1,102	(5.3%)	1,160	(5.7%)	△58	△5.0%	
	労働災害	128	(0.6%)	125	(0.6%)	3	2.4%	
	運動競技	119	(0.6%)	101	(0.5%)	18	17.8%	
	一般負傷	3,048	(14.6%)	3,030	(14.8%)	18	0.6%	
	加害	63	(0.3%)	71	(0.3%)	△8	△11.3%	
	自損行為	209	(1.0%)	203	(1.0%)	6	3.0%	
	急病	14,168	(68.0%)	13,820	(67.4%)	348	2.5%	
	その他	転院搬送	1,426	(6.8%)	1,451	(7.1%)	△25	△1.7%
		医師搬送	3	(0.0%)	9	(0.0%)	△6	△66.7%
		資材搬送	1	(0.0%)	1	(0.0%)	0	0.0%
その他		483	(2.3%)	485	(2.4%)	△2	△0.4%	
搬送人員		17,518		16,794		724	4.3%	
性別	男性	9,088		8,778		310	3.5%	
	女性	8,430		8,016		414	5.2%	
程度別	死亡	168	(1.0%)	143	(0.9%)	25	17.5%	
	重症	1,390	(7.9%)	1,411	(8.4%)	△21	△1.5%	
	中等症	7,162	(40.9%)	6,718	(40.0%)	444	6.6%	
	軽症	8,798	(50.2%)	8,522	(50.7%)	276	3.2%	
	その他	0	(0.0%)	0	(0.0%)	0	0.0%	
活動	ドクターカー使用	64		65		△1	△1.5%	
	ドクターヘリ使用	5		2		3	150.0%	

* 小数点第2位を四捨五入

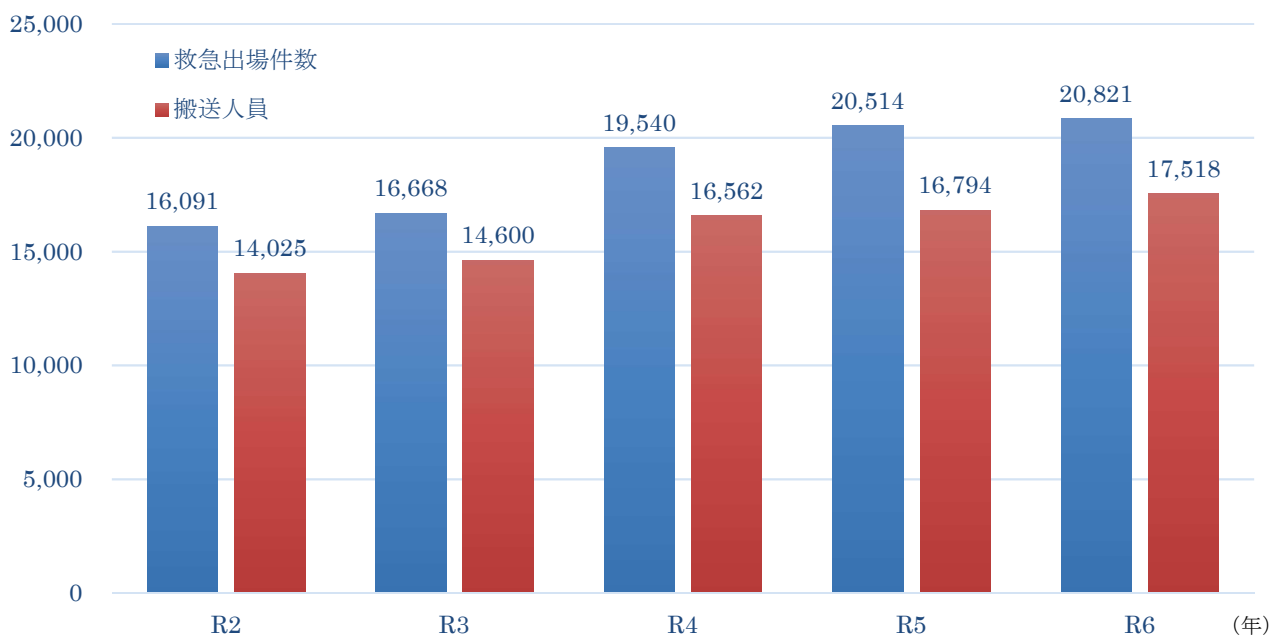
* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

* 事故種別内訳の括弧内は救急出場件数に対する割合

* 程度別の括弧内は搬送人員に対する割合

過去5年間上半期の救急出場件数及び搬送人員の推移

(件・人)



3 救急隊別活動状況

隊別		令和6年上半期		令和5年上半期		前年比	
		出場件数	構成比	出場件数	構成比	比較増減	増減率
相模原署	本署1	1,523	7.3%	1,582	7.7%	△59	△3.7%
	本署2	1,570	7.5%	1,587	7.7%	△17	△1.1%
	田名	1,064	5.1%	982	4.8%	82	8.4%
	淵野辺	1,408	6.8%	1,437	7.0%	△29	△2.0%
	緑が丘	1,372	6.6%	1,313	6.4%	59	4.5%
	上溝	1,276	6.1%	1,249	6.1%	27	2.2%
南署	本署1	1,553	7.5%	1,630	7.9%	△77	△4.7%
	本署2	410	2.0%	386	1.9%	24	6.2%
	新磯	862	4.1%	781	3.8%	81	10.4%
	大沼	1,429	6.9%	1,417	6.9%	12	0.8%
	相武台	1,408	6.8%	1,388	6.8%	20	1.4%
	上鶴間	1,310	6.3%	1,315	6.4%	△5	△0.4%
北署	本署	1,308	6.3%	1,206	5.9%	102	8.5%
	大沢	931	4.5%	884	4.3%	47	5.3%
	相原	1,064	5.1%	1,033	5.0%	31	3.0%
	城山	939	4.5%	888	4.3%	51	5.7%
津久井署	本署	394	1.9%	488	2.4%	△94	△19.3%
	派出所	626	3.0%	549	2.7%	77	14.0%
	藤野	263	1.3%	284	1.4%	△21	△7.4%
	青根	111	0.5%	115	0.6%	△4	△3.5%
計		20,821	100.0%	20,514	100.0%	307	1.5%

* 小数点第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

* 南本署2は日勤救急隊

4 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位		令和6年上半期		令和5年上半期		前年比	
		搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
1	急病	11,936	68.1%	11,276	67.1%	660	5.9%
2	一般負傷	2,700	15.4%	2,582	15.4%	118	4.6%
3	転院搬送	1,419	8.1%	1,440	8.6%	△21	△1.5%
4	交通	1,002	5.7%	1,077	6.4%	△75	△7.0%
5	自損行為	147	0.8%	133	0.8%	14	10.5%
6	労働災害	124	0.7%	126	0.8%	△2	△1.6%
7	運動競技	115	0.7%	99	0.6%	16	16.2%
8	加害	46	0.3%	44	0.3%	2	4.5%
9	火災	20	0.1%	15	0.1%	5	33.3%
10	自然災害	5	0.0%	0	0.0%	5	—%
11	その他	3	0.0%	1	0.0%	2	200.0%
12	水難	1	0.0%	1	0.0%	0	0.0%
計		17,518	100%	16,794	100%	724	4.3%

* 小数点第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

5 年齢別搬送人員

年齢区分	令和6年上半期		令和5年上半期		前年比	
	搬送人員	構成比	搬送人員	構成比	比較増減	増減率
新生児（生後28日未満）	54	0.3%	52	0.3%	2	3.8%
乳幼児（生後28日以降から7歳未満）	831	4.7%	1,027	6.1%	△196	△19.1%
少年（7歳から18歳未満）	659	3.8%	591	3.5%	68	11.5%
成人（18歳から65歳未満）	5,579	31.8%	5,315	31.6%	264	5.0%
高齢者（65歳以上）	10,395	59.3%	9,809	58.4%	586	6.0%
合計	17,518	100.0%	16,794	100.0%	724	4.3%

* 小数点第2位を四捨五入

* 端数処理（四捨五入）のため、割合・構成比の合計は100%にならない場合がある。

6 救急車の適正利用

上半期の救急件数として過去最多を更新しており、救急車の出場が多くなっています。夜間や休日にどこの医療機関に受診してよいかわからない場合は、相模原救急医療情報センター（電話 042-756-9000）を活用してください。また、夜間に子どもの体調が急変した場合の相談は、かながわ小児救急ダイヤル（#8000 もしくは、050-3490-3742）を活用してください。「緊急ではない」「交通手段がない」などの場合は、相模原市消防局認定の患者等搬送事業者（有料）の利用も検討してください。

「反応がない」「呼吸がない」など緊急を要する場合は、ためらわずに119番通報で救急車を要請してください。

※ 相模原救急医療情報センター（電話 042-756-9000）

【対応時間】

平日：午後5時から翌朝9時まで

土曜日：午後1時から翌朝9時まで

日曜日・祝日等・年末年始：午前9時から翌朝9時まで

※ かながわ小児救急ダイヤル（電話#8000 もしくは、050-3490-3742）

【対応時間】

毎日：午後6時から翌朝8時まで

～救急車や救急医療は**限りある資源**です～

救急出場件数は、年々増加傾向にあります。その半数は、入院を要さない軽症の方です。「**救える命**」を救うために、皆様のご理解とご協力をお願いします。

救急車の不適正利用例



× 交通手段がない



× 優先的に診てもらえる



× 救急車は無料だから



× どこの病院に行けばいいかわからない



× 夜間・休日の診療時間外だった